



9/23 赤と白勝っても負けても
ファイナルゴール

今年度で閉校することが決まっている中浦小学校（全校児童9人）で小学校と地区合同の運動会が開催されました。今年のスローガンは「赤と白勝っても負けてもファイナルゴール」。会場には中高生やOB、地域の人たちが大勢かけつけて小学校の最後の運動会を盛り上げました。

6年清水伶（れい）さんは「中浦小学校にとっては最後の運動会。中浦っらしく力いっぱい演技し、元気いっぱい走ることができた。心に残る最高の運動会になった」と話しました。

9/24 岩切愛子さんらが鹿島でライブ
180人が堪能

この春完成した西海観光船応援ソング「オレンジの時つ風」を歌う岩切愛（あい）さんと「アイナンテス」を歌うN.U.（庭瀬幸（こういちろう）一郎さん、宇田シンヤさん）による野外ライブが鹿島で行われました。

鹿島の魅力を広く知ってほしいと西海観光船が初めて企画したもので、この日は町内外から約180名が鹿島に上陸して、大自然の中で岩切愛さんらのライブを堪能しました。

ライブに合わせて大阪から帰省した畑部宣（のりこ）子さんは「ふるさとの自然の中でのライブにとっても感動した、元気をもらった」と話しました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.84

「肉食系女子」



アカエソ

11月22日は、いい夫婦の日なので、これまでも何回か海の中の夫婦を紹介してきた。海の中にはいい夫婦がいっぱいである。今回は、アカエソの紹介をしよう。

アカエソはそのままの姿で売られていることはほとんどなく、すり身となって魚屋に並んでいることが多い。姿を見たことがなくても、みんなが食べている魚である。産卵期になると、大小2匹のペアが仲良く並んでいるのを見かけるようになる。体の大きな方がメスで、小さなほうがオスである。卵をたくさん産むためにメスの方が大きくなったようだ。

そのせいか、主導権をもっているのも、どうやらメスのようである。いつも大きなメスの後を、小さなオスが追いかけている。メスが動かないと、オスも動かない。

仲良く見つめ合っているペアを撮影していると、メスが深場へ逃げて行ってしまった。するとオスがあわててその後を追いかけて、2匹ともいなくなってしまう。残念ながら、撮影終了。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照（ともてる）

9/25 スポーツの秋 自己ベストに挑戦!

南レク城辺公園多目的広場で「愛-1 グランプリ 2017」(主催:愛南町体育協会)が開催され、小学生から一般まで愛南のアスリート約120名が参加してさわやかな汗を流しました。

参加者は、「100m 走」やサッカーのシュートで的を狙う「キックターゲット」、「ソフトボール投げ」など全8種目のうち自信のある競技に参加して自己ベストを目指しました。

「キックターゲット」で優勝した宇都宮琉太郎くん(城辺小4年)は「優勝できてうれしい。また来年もキックターゲットで優勝したい」と笑顔で話しました。



10/4 平碇白王神社で奉納相撲

毎年旧暦8月15日に平碇地区の白王神社で行われている奉納相撲が今年もにぎやかに行われました。

白王神社の奉納相撲は、かつて平碇地区一帯に流行った疫病を治してもらうために、白王神社に願をかけて年に一度奉納相撲を行うことにしたのが始まりといわれています。

この日は、園児から一般まで約50人が参加して真剣な取組を奉納しました。

また、ゲストにタレントのアントニオ小猪木さんも登場し、会場を沸かせました。



10/13 「お食い初め」お祝いマダイ

城辺保健福祉センターで「お食い初め」お祝いマダイの贈呈式がありました。このお祝いマダイのプレゼントは、愛南町ぎょしょく普及推進協議会が、ぎょしょく普及と子育て応援を目的に10月1日から行っています。

この日は、山本徹さんと10月14日に生後100日を迎える長女の杏ちゃんら家族4人が出席して、同協議会の竹田英則(久良漁業協同組合長)会長から約1キロの養殖マダイ1尾を受け取りました。母親の恵梨さんは「祝ってもらいうれしい。塩焼きにして出したい。」と笑顔で話しました。

マダイのプレゼントは、今年4月1日以降に出生したお子様がいる町民の保護者が対象です。詳しくは、同協議会事務局(TEL72-7120)にお問い合わせください。

